

センター通信

東濃障がい者総合支援センターとうぎ

・陶技学園相談支援センター

・東濃障がい者就業・生活支援センター サテライト

・居宅支援センターとうぎ

今年の夏は雨が多く、緊急事態宣言の発出もあり、お盆休みなどを思うように過ごせなかった方もいらっしゃると思います。10月1日からは約半年ぶりに緊急事態宣言やまん延防止対策が解除となりました。ワクチン接種で集団免疫ができると状況は変わってくるかもしれませんが、以前のような生活様式に戻るにはどれぐらいの年月が掛かるのでしょうか。油断禁物で感染予防に徹底し支援を行いたいと思います。

3センター 東濃障がい者就業・生活支援センター サテライトt 多治見市小泉町2-93ルミナス小泉102号室 TEL:0572-26-9721

多治見市小泉町2-93ルミナス小泉102号室
TEL:0572-26-9721



「意思決定支援」について研修会を行いました

「意志決定支援」とは、自ら意志を決定することに困難を抱える障がい者が、日常生活や社会生活に関して自らの意志が反映された生活を送ることができるよう、可能な限り本人が自ら意思決定できるよう支援し本人の意思確認や意志及び選択を推定し、支援を尽くしても本人意志及び選択の推定が困難な場合には、最後の手段として本人の最善の利益を検討するために事業者の職員が行う支援の行為及び仕組みをいいます。
 <<『障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン』(厚生労働省)より>>

「意志決定」を構成する要素として考えられる3つのこと

①本人の判断能力

日常生活における意思決定はできて本人の判断能力は違うため慎重な評価を要する。

②意思決定が必要な場面

体験の機会の活用を含め、本人の意思確認を最大限の努力で行うこととした上で、事業者・家族・成年後見人など関係者が集まり、判断の根拠を明確にしなが、より制限の少ない生活への移行を前提とした支援を進める必要がある。

③人的・物理的環境による影響

(人的な影響)・意思決定支援に関わる職員が、本人の意思を尊重しようとする態度で接しているか、本人との信頼関係ができているか、家族や関係者との関係性も影響を与える。

(環境による影響)・慣れない場所や環境下では本人が緊張してしまい、普段通りの意思表示ができない可能性もある。

意志決定支援の3つの基本原則

①自己決定の尊重とわかりやすい情報提供

必要な情報の説明は本人が理解できるよう工夫して行うことが重要。

②不合理と思われても他者の権利を侵害しないのであれば尊重する

職員や家族にとって不合理と思われる決定でも他者への権利を侵害しないのであれば、その選択を尊重するように努める姿勢が大切です。

③本人の自己決定や意思確認がどうしても難しければ関係者が集まり意志を推定する

日常生活の場面、サービス提供場面での表情や感情行動録、人間関係など、様々な情報を集めて根拠を明確にしなが本人の意思を推定します。

7月から9月までのサテライトtの実績

	7月	8月	9月
新規求職者数	6	4	4
相談・支援件数	291	260	252
職業準備訓練及び職場実習のあっせん件数	1	3	3
就職件数	1	0	2
職場訪問による定着支援件数	45	39	37
発達障がい者支援コンシェルジュ活動件数	58	58	68
精神障がい者支援活動件数	59	46	61

JR小泉駅より北西に徒歩2分

陶技学園相談支援センター 東濃障がい者就業・生活支援センター サテライトt



陶技学園相談支援センター

多治見市小泉町2-93ルミナス小泉105号室
TEL:0572-26-7551

福祉サービスの利用に関する相談だけでなく、様々なお相談にも対応致します。障害種別を問わず必要に応じて訪問相談も可能です。

居宅支援センターとうぎ

多治見市姫町2-2 TEL:0572-29-5421

昨今、利用者様が関わっている事業所や福祉事業所で陽性者や濃厚接触者となることが多くなってきています。複数の福祉事業所を利用されている方も多く、支援の際には消毒やマスクなど感染予防の徹底をしながら、可能な限り支援の提供を継続できるよう努めていきたいと思っています。